

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立本巣松陽高等学校

学校番号 14

I 自己評価

1 学校教育目標	学校教育全体を通じて、「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かでたくましく生きることのできる生徒の育成に取り組む。 ア 学習活動を重視し、自己実現に向けた意欲的な態度の育成 イ 規範意識の確立と豊かな心の育成 ウ 自主・自立の精神の育成		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP) ○広い視野と確かな学力をもち、自ら見出した課題に、粘り強く取り組むことができる生徒 ○自分の良さや可能性を認識し、コミュニケーション能力を発揮して、多様な人々と協働できる生徒 ○心身の健康を常に心掛け、自律的な生活ができる生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP) ○基礎的、基本的な知識、技能を習得させるとともに、地域との連携を大切にして「探究的な学び」を推進 ○すべての教育活動において共感的な人間関係づくりを進めるとともに、「対話を重視した楽しくわかる授業」を推進 ○校内外の活動における主体的な取り組みを支援することで、「自ら考え行動できる力」の育成を推進	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP) ○自己実現に向けて、学習に取り組む、何事にも挑戦したいという熱意のある生徒 ○自他を尊重し、人とのつながりを大切にする生徒 ○地域の一員として自覚をもち、自主的な活動に積極的に参加したいという意欲のある生徒

3 評価する領域・分野	◇「進路指導」		
4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒、保護者等とともに、進路情報の提供に関する肯定的な回答が約6割〜7割であった。 ・生徒、保護者等とともに、進路希望に沿った指導に関する肯定的な回答が7割強であった。 ・どちらの質問に対しても「わからない」と回答した割合が昨年度と比較して増加しているため、情報発信の機会を増やしていきたい。		
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇進路を実現する力の育成 ・個々の進路希望に応じた学習支援を推進する。 ・外部活力を有効的に活用する。 ・進路情報を積極的に発信する。		
6 重点目標を達成するための校内における組織体制	・生徒が主体的に学び、進路決定や自己実現ができるように、生徒、保護者等、教員のニーズ等に対応した進路情報を提供する体制の確立 ・全教員の協力による補習、小論文及び面接指導の実施		
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 生徒の進路希望に沿ったガイダンスや講演会の実施 (2) 大学等の入試対策及び学習習慣を確立する体制づくり (3) 生徒、保護者等に対する進路情報の効果的な提供	(1) 「振り返りシート」による内容の分析 (2) 校外模試の学習成績の推移と進学実績 (3) 生徒、保護者等を対象としたアンケートの結果		
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
・ガイダンスや講演会等について、生徒一人ひとりの進路希望に沿って実施することができた。なお、実施にあたっては、感染症対策としてWeb等を有効的に活用した。 ・すべての教員の協力のもと、全校体制での補習、個別の小論文及び面接指導を実施し、生徒一人ひとりの進路希望の実現に向けて、生徒と教員が一体となって効果的な取り組みを日々積み重ねることができた。	①生徒が自らの在り方や生き方について考え、将来に対する目的意識を持つことができたか。 ②生徒が、主体的に進路実現に向けて努力する環境を整えることができたか ③生徒、保護者等を対象としたアンケートの結果はどうであったか。	[A] B C D A [B] C D A B [C] D	
12 成果課題	○ガイダンスや講演会について、予定通り実施することができた。年度当初に2・3年次生は22講座を設けた出前授業を、秋には1・2年次生を対象にした「社会の課題と未来セミナー」として18講座を設け、大学等の先生方から講義を受けた。どちらも生徒の進路意識の向上につなげることができた。 ・○全校体制のもとで補習、個別の小論文及び面接指導を実施することができた。 ▲進路情報の発信について、生徒、保護者等、教員のニーズを的確に把握し、適切な進路情報の発信を行ってきたい。		総合評価 A [B] C D
13 来年度に向けての改善方策案			
・講演会や出前授業の内容について、例年とおりでなく、生徒の実態に合わせて変えていく。 ・放課後等を活用して、希望者を対象にしたゼミ形式の講義などを行う。 ・生徒の学びに向かう姿勢を育てられるよう、知的好奇心を刺激する進路指導を考えていく。 ・進路指導部からの情報発信だけでなく、担任の先生等にも協力してもらい、全校体制での情報発信に努める。			

II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年1月31日

【意見・要望・評価等】
・本校を卒業した大学生や社会人から、高校時代の苦労話や現況を話してもらうことにより、生徒が将来の展望を感じ取ることができる講演会やガイダンスを実施するとよい。 ・本巣松陽高校ならではの強みを考え、それを活かした進学指導を考えるとよい。